

教師の体験活動が、子どもたちへの指導に生きる 令和4年度「教職員講座」

奄美少年自然の家

指導者育成事業「教職員講座」

当所における主催事業の中には、教育関係者職員を対象とした講座もあります。今年度も、「指導者育成」に位置づけられる「教職員講座」を開催しました。

■対象：大島地区内の学校等教育関係職員

■期日：令和4年8月24日(水)

■趣旨：教職員が奄美の自然の豊かさや素晴らしさに触れ、野外活動等を体験することにより、体験活動の教育的意義を深め、集団宿泊学習をはじめとするこれからの教育に生かす機会とする。

以下、今回の活動の様子を紹介します。

海洋・海浜活動

当所の活動プログラムにある、「いかだ活動」と、B&Gアマニコ海洋クラブの方を講師に招いたSUP（スタンドアップパドル）の体験を行いました。

「いかだ活動」では、角材でできたいかだの枠に、フロート（浮き）を結びつけ、海に浮かぶようにするところから体験しました。



【フロートを結びつけます】



【思わず笑顔もこぼれます】

二人組で力を合わせたり、緩みにくい「本結び」に挑戦したりと、いかだを浮かべるまでの工程を子どもたちに指導することを想像しつつ、一つ一つ確認しながら行いました。

海にこぎ出した後も、声をかけ合いながら、力を合わせていかだを進めたり、方向転換したりするコツをつかんでいました。

SUP体験は、バランスの取り方やこぎ方、方向転換の仕方などから落ちた後のリカバリーの仕方まで、



【基礎からの丁寧な指導でした】

丁寧な指導の下、真剣に取り組んでいました。

自然体験活動



【奄美の風景についての説明】



【固有種等の説明】

午後からは、奄美環境コーディネーターと認定エコツアーガイド2人を講師に招き、少年自然の家を散策しました。奄美ならではの動植物の説明や質疑応答から、奄美の自然について考える機会となりました。

県本土とは異なる木々や奄美大島が世界自然遺産に登録されたきっかけとなった多くの固有種について等、くわしく説明していただきました。

参加した教職員の感想（一部抜粋）

- 奄美の自然に十分触れさせていただけただけ1日だった。
- 子どもたちには、「こう伝えたらいい」などのポイントも教えていただき、気づきも多くあった。
- 体を動かしたことでリフレッシュできて心身共にパワーチャージできた。